

7月6日 の海外相場

COMEX/NYMEX (\$)		Gold (Dec)	Silver (Dec)	Platinum (Oct)	Palladium (Dec)
Open		4,049.2	59.470	1,577.9	1,220.0
High		4,157.1	61.595	1,639.7	1,282.5
Low		4,042.8	59.465	1,577.9	1,217.0
Settlement		4,125.7	60.643	1,618.4	1,272.5
Change		43.3	0.558	27.4	49.1
EFP		\$11.00 \$12.00	¢ 0.00 ¢ 15.00	\$7.00 \$14.00	\$2.00 \$8.00

Fixing Prices

LBMA/LPPM Fixing (\$)	AM	PM
Gold	4,137.55	4,140.95
Silver	62.070	-
Platinum	1,638.30	1,617.30
Palladium	1,277.30	1,262.55

コメント

Precious Metal

金：小幅下落 銀：小幅下落 プラチナ：小幅下落 パラジウム：横ばい

金銀市場は反落した。米金利の方向感を見極めたいとの様子見姿勢が強く、FOMC議事要旨を控えて積極的な売買は手控えられた。金は日本時間に4,170ドル付近で始まり、一時4,160ドルまで下落した後は欧州・欧米時間を通じて横ばいで推移。銀も62ドル付近で始まった後に下落し、その後は61～62ドル台で方向感に欠ける展開となった。プラチナ・パラジウム市場も方向感に乏しい展開となった。新規材料に乏しい中、金銀同様にFOMC議事要旨を前に様子見ムードが強まり、小幅な値動きにとどまった。一方で、原油価格の下落を背景にインフレ懸念が和らいだことは下支え材料となったが、全体としてはレンジ内での推移が続いた。

FX

ドル円：上昇 ユーロドル：上昇

為替市場ではドル円が続伸した。東京時間からのドル買いの流れを引き継ぎ、一時162.43円まで上昇したものの、2日高値の162.61円が上値抵抗として意識され、162円前半まで伸び悩んだ。ウォラ-FRB理事がインフレ加速への警戒や金融政策見直しの必要性に言及したものの、市場の反応は限定的だった。ユーロドルは小幅ながら3日続伸。ドル円上昇を背景に一時1.1409ドルまで下落したものの、その後はドル買いが一服し、ショートカバーから1.1445ドル付近まで持ち直した。全体としてはドル高基調の中でも方向感に欠ける展開となった。

ドル円：162.09ユーロドル：1.1441

7月6日 週の経済指標一覧

	07/06 (月)	07/07 (火)	07/08 (水)	07/09 (木)	07/10 (金)
Americas	アメリカ・ISM非製造業景気指数 06月 前 54.5 予	アメリカ・貿易収支 05月 前 -559億ドル 予		アメリカ・FOMC議事録 06月 前 予	前 予
				アメリカ・中古住宅販売件数 06月 [中古住宅販売件数] 前 予	前 予
APAC			NZ・NZ中銀政策金利 07月 前 2.25% 予		
EMEA					

Source: みんかぶ

COMEX/NYMEX 投機的建玉

2026/6/23	Gold (Mil oz)	Silver (Mil oz)	Platinum (koz)	Palladium (koz)
Long	25.0	301.7	1,598.1	948.4
Short	5.6	102.7	667.9	1,233.6
Net	19.4	199.0	930.3	-285.2
Change	-0.5	-11.4	1.0	-17.2

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。